

PDCAサイクルの確立



Plan : サステイナブルキャンパス構築のためのアクションプラン(2012)

Check : サステイナブルキャンパス評価システム(2013)

国内外の大学とのネットワーキング

Hokkaido University STARS REPORT  
AASHE STARS Reporter 2012-2015

UNI metrics EU FP7, 2012-2013

International Symposium since 2011

ISCN Membership since 2013

学内コミュニケーション

Missing dialogues



Participatory process

Sustainable Campus Café

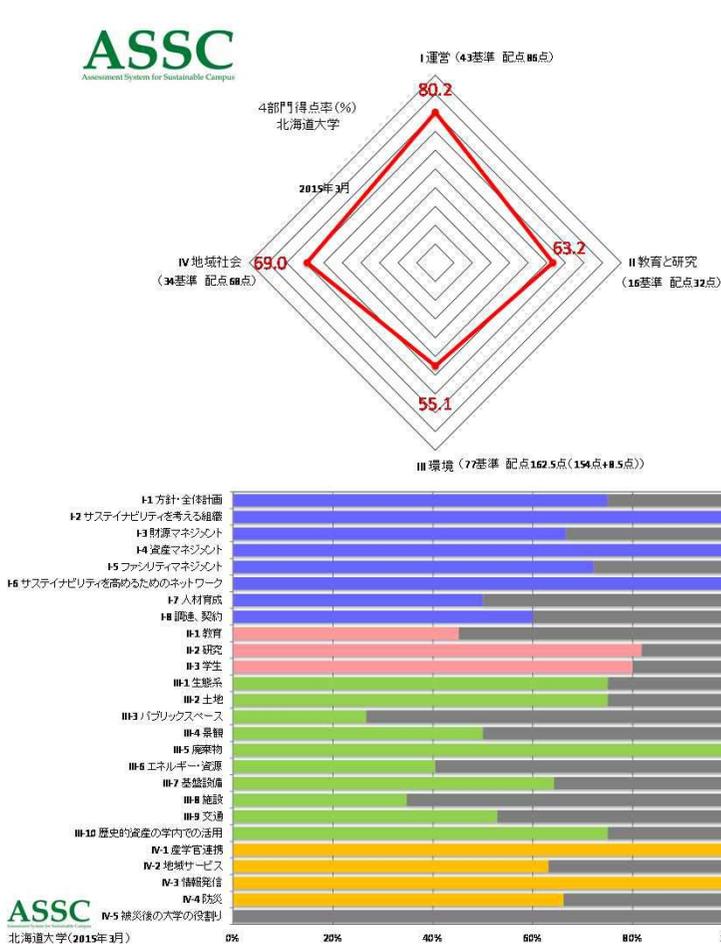


インセンティブプログラム

Incentivization

サステイナブルキャンパスをつくる！ 事務局

- 概要  
本学の環境負荷低減を目的し実施される取り組みについて、概要を募集します。実施内容は、顕微鏡等の省エネに限らず、ごみの削減、水の節約、自転車利用の問題解決など、費役にやさしく快適なサステイナブルキャンパスを実現する取り組みを、幅広く募集します。また、このような問題に取り組む教育・研究プログラムなど、ソフト事業も支援（助成）対象に含みます。
- 助成金額、採択件数、事業実施期間  
助成金額：1件あたり最大50万円まで、数万円〜の少額応募も歓迎です。  
採択件数：5件程度  
事業実施期間：採択決定の通知があったから平成28年1月末日まで
- 助成対象となるテーマ  
下記4点のうちいずれか（複数該当可）を目的とする施策を募集します。  
①本学の環境負荷低減を促す。  
②本学のキャンパスでの生活環境を良くする。  
③本学と地域社会との連携を促進する。  
④上記①-③に関連する教育・研究を実施する。



ASSCは、サステイナブルキャンパス推進本部が日本建築学会都市計画委員会大学・地域デザイン小委員会の協力を得て開発したサステイナブルキャンパスの評価システムです。170の評価基準からなり、運営、教育・研究、環境、地域社会の4部門にわたる大学の総体評価が可能です。

大学全体の計画、マネジメント体制、人材確保、予算確保に関する評価基準も多く、サステイナブルキャンパスの構成要素とは何かを理解し、自らの大学の特徴を自覚するとともに、その後の戦略づくりに資する評価結果を示すこと目的として開発されています。

左図は、ASSCにより北海道大学を自己評価した結果（平成26年度）です。運営部門は最も得点率が高く、環境部門は苦戦しています。教育と研究部門では「II-1 教育」分野が、地域社会部門では「IV-4.5の防災関連の分野」が特に低くなっています。

この結果を受けて、サステイナブルキャンパス推進本部では、平成27年度は下記のような戦略をたて、実施しています。

- ◆ サステイナビリティレラシー教育
- ◆ サステイナブルキャンパス構築に関わる学生活動、運営、教育・研究へのインセンティブ付与
- ◆ 学生WSの開催等、環境負荷低減活動への学生の巻き込み
- ◆ キャンパスマスタープラン改訂とエネルギー計画・目標の策定
- ◆ 札幌市との連携によるキャンパスエリア活用方法の検討

大学の環境負荷低減には、運営組織である施設部、サステイナブルキャンパス推進本部と、教育・研究を担う各学部の教職員、学生の連携が不可欠です。これらのコミュニケーションを促進し協働するため、ワークショップの開催、ボトムアップによる提案募集型のインセンティブプログラムを実施し、全学の巻き込みを図っています。